

第 83 号
平成 27 年
10 月号

HPに 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中心区出水 4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故, 山田整骨院

<http://www//jiko-kumamoto.net/>

便秘と劣等生 女学生の腸と脳との関連研究断面

福岡県立筑紫高等女学校 阿高卯平
月刊 西式 昭和 13 年 3 月号

(一)はしがき

…略…私は「便秘果して劣等性に多いか」の目標に光明を得んため、色々考えて見たが、…略…全く違った方面から仮説を得ることにした。即ち腸閉塞の代わりに、便通—便秘をとり、脳内出血の代わりに生徒の全学科成績並びに思考、想像、記憶等を主とする数学科成績——劣等生をとることにした。もっとも女子は男子に比べて腹部大きく、運動不足便秘性食物を多く摂取し、且つ排便を恥しがらる慣いがあるので、益々便秘を助長することになる。従って少女時代に便秘症であった令嬢は、当然将来常に性的障害を初め、万病の苦難者となるを痛感し、今の高等女学校時代こそ最も重要な危期と考えたので、全生徒六百五十六名に就いてかなり詳細に記録をとり、簡単な統計法によって、腸——→「便秘」と脳——→「劣等生」との関連関係を検討して見た。ところが面白いことには、モルモットの代わりに生徒を対象としたのに拘らず、予想以上の結果を得たので、順次その概要を述べて、皆さんのご批判を賜り度いと思ふ。

(二)便通について

…略… (イ) 普通健康 毎日必ず一回、柔かくて棒状の充実した気持ちのよい便が、適量排泄するもの…略…

(ロ) 生理的健康 略…毎日およそ二回或は三回の快便を適量排泄するもの…略…

(ハ) 常習便秘 およそ数日目に漸く一回の極硬便或は下痢を伴う苦痛便を一般に便秘と称する。…略…

(三)調査の実際

生徒各自に次の要項を記したプリントを配布し調査の目的や方法を充分理解させてから、ゆっくり記入させたが、女子は男子に比べて一般に従順だから、真面目にその真実を記してくれたので、相応に完備した資料を得るに至った。

記載要項

(1) 全学科平均評語 (第二学期) は□でした。(2) 数学科成績評語 (同) は□でした。(3) 私は最近「健康」或は「虚弱」と思います。(4) 私の便通に就て、A. 毎日必ず一回 B. 毎日およそ□回 C. およそ□日目に一回 イ. 柔かくて棒状の充実した快便、ロ. 少し硬いか柔いかする快便、ハ. 極めて硬いか下痢する不快便 ◎多・中・少です。(5) 私の便秘症状について、1 早く疲労倦怠 2 頭痛頭重 3 思考力不足 4 記憶力減退 5 気分落着かぬ 6 眩暈 7 不眠 8 腹痛 9 腹が張る 10 腰痛 11 吐き気 12 食欲不振 13 運動不足 14 姿勢不良 15 顔色不良 16 皮膚病 17 痩せている 18 手足が冷える 19 肩こり

(四)調査の結果

これでいよいよ、各自の調査も終わったので、なるべく多角的な観点から統計してみた所、次のような面白い結果を得た。

A表 全学科統計 (全生徒)

成績	便秘	普通	健康
優等生 (甲)	4 3	8 6	1 8
普通生 (乙)	1 4 6	2 9 7	4 7
劣等生 (丙)	9	4 7	ナシ

B表 数学科統計 (全生徒)

成績	便秘	普通	健康
優等生 (甲)	5 7	1 3 1	2 6
普通生 (乙)	1 1 2	2 0 3	3 1
劣等生 (丙)	2 9	6 0	8

便通 百分比

便通	便秘	普通	健康
全生徒	30.2%	59.8%	10%

全教科成績の百分比

全学科	優等生	普通生	劣等生
全生徒	22.4%	74.7%	2.9%

第一図の扇形グラフ (略) は、この%を明らかに示したもので、便秘が相当に多いのに驚く。

第二図の扇形グラフ (略) は、この%を明らかにしたもので、普通生が大部分を占め、劣等生には僅かしかいない

数学科成績の百分比

数学科	優等生	普通生	劣等生
全生徒	32.6%	52.6%	14.8%

第三図は (略)、この百分比を示したもので、普通生は約半数で全学科成績と比べると、優等生劣等生共に多数であるか、これは数学科 —— 理科系統特有の現象であろう。…略…

(五)便通より観たる全学科成績

全学科	優等生 (甲)	普通生 (乙)	劣等生 (丙)	計
便秘	21.7%	73.7%	4.6%	100%
普通	21.9%	75.6%	2.3%	100%
健康	27.7%	72.3%	ナシ	100%

第四図 (略) に於いて、…略…便通のどの部を見ても、ほとんど差別なく大多数を占めているのが普通生であるが、流石便秘の中には全学科の優等生が一番少なく、次第に健康に進むにつれて、優等生の%を増しているのが見られる。次に最も注意すべきは、便秘において劣等生が 4.6%あるのに、普通では 2.5%に漸減し遂に理想とする生理的健康に至れば全学科の劣等生は全く一人もいないと云うことである。果してこの事実は何を物語るものでしょうか。

(六)便通より観たる数学科成績

数学科	優等生 (甲)	普通生 (乙)	劣等生 (丙)	計
便秘	28.8%	56.6%	14.6%	100%
普通	33.3%	51.4%	15.3%	100%
健康	40%	47.7%	12.3%	100%

第五図 (略) に於ける数学科の配分を第四図と同様に考究してみよう。先ず便秘に於いて、数学科の優等生は最小 28.8%から普通へ、更に健康へと進むに従って益々累加し、遂に 40%までも達していて、全学科の場合よりも差が甚だ多い。之に反し、数学科の普通生及び劣等生には便秘が甚だ多く、健康になるにつれて、少しづつの減少を示している。誠に興味あることである。以下次号。